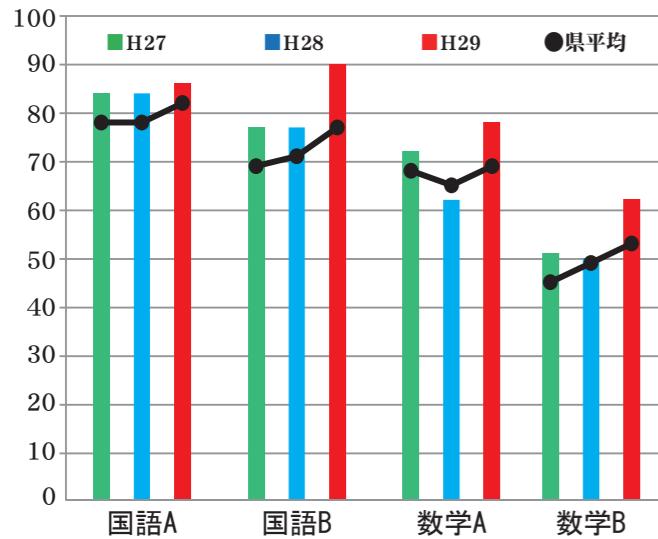
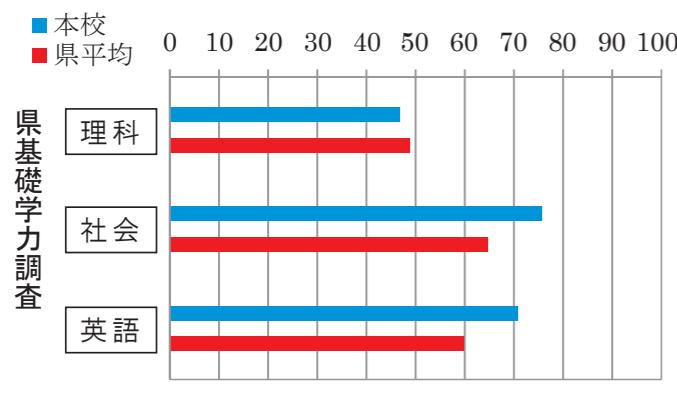
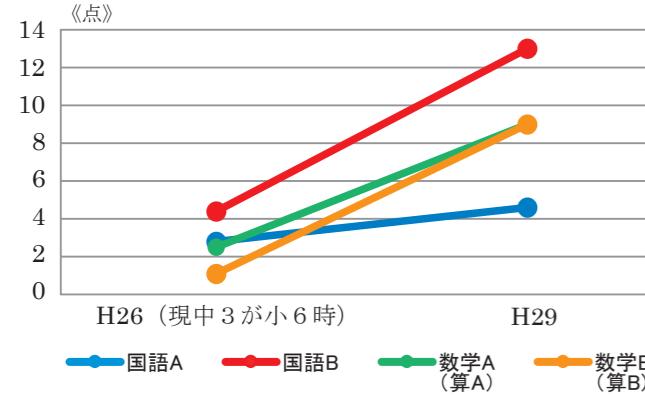


## ○検証

【全国学力学習状況調査結果】3年間の比較



【県平均との差】



## ○成果

- 3年間の確実な学力の伸びがみられる。特に現3年生においては、顕著な成績の伸びが見られる。
- 国語・数学とも活用力が10ポイント以上上回り、グループ活動で説明力・記述力が向上したと考える。また、問題に適切に対応することができている。
- グループ活動が学習への意欲と向上に結びついている。
- 学校生活や地域活動で自己肯定感が高まっている。

全国学力学習状況調査 質問紙 (単位%)

質問項目		H27	H28	H29 (4月)	H29 (7月)
表現	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意だ	44	89	32	59
予習	学校の授業の予習をしている	70	96	100	100
B	授業では、生徒間で話し合う活動をよく行っていたと思う	93	100	96	100
B	生徒間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている	74	89	73	91
振り返り	授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う	67	100	86	73

全校 学習・生活アンケート (単位%)

質問項目		H27	H28
表現	発表で自分の考えを分かりやすく、相手に理解させることができる	/	73
予習	自分で考えた予習をしている	32	60
予習	各教科から出された予習で次の授業が楽しみになる	/	50
B	グループでの学び合いで、考えが広がったり、深まったりしたと感じる	90	85
B	授業での学び合い（ペアや班活動など）で磨きあげられている	97	92
振り返り	自己のがんばりや変容を振り返ることができている	95	85
	自分の将来に対して夢や希望を持っている	63	72
キャリア教育	将来（いつか）地元にもどって働き（生活し）たいと思う	63	73
	将来、この地に合った職業を工夫したり、新しく開拓してみたい	/	62
	東陽中の生徒であることに誇りを感じる	95	97

## ○課題

- ▲予習への意識は高まっているが、内容や質の向上を高める必要がある。
- ▲グループ活動の効果は高いが、自分の意見を工夫して、発表につなげる発信力や、自己の目標実現のための創造力を更に伸ばしていきたい。
- ▲生徒が言語化した自己の変容を、授業の中で確実に共有し、学習内容の定着や次の学びへの意欲につなげる。

平成29年度 石川県教育委員会指定 能動的学習推進事業

# 研究発表会

## 研究主題

一人ひとりを大切にし、  
未来を切り拓いていく資質・能力を育む指導の充実

～授業改善を軸にした、能動的教育活動の推進～

